

令和6年第3回守山市教育委員会定例会

1	教育長業務報告	2
2	報告事項	
(1)	令和6年守山市議会3月定例会月会議教育委員会関係質疑質問の概要について	3
3	その他事項	
(1)	守山市男女共同参画審議会委員の推薦について	34
(2)	寄付採納一覧について	35
(3)	教育委員会関係行事等について	37
(4)	教育委員会の日程等について	42

令和6年2月・3月 業務報告

令和6年3月21日現在

月	日	曜	主 な 内 容
2	21	水	令和5年度第3回守山市図書館協議会
2	22	木	令和6年守山市議会3月定例会会議（開会）、中学校生徒会能登半島地震募金活動報告
2	25	日	滋賀県フリースクール等協議会「不登校を知る2024」フォーラム
2	26	月	令和5年度第2回社会教育委員会会議および公民館運営審議会
3	2	土	令和5年度第5回守山市中学校卓球大会
3	3	日	ほたるのまち守山第41回野洲川健康ファミリーマラソン大会、第23回国際交流の広場 もりやまエコフェスタ2023
3	4	月	令和6年第1回守山市教育委員会臨時会
3	6	水	令和6年守山市議会3月定例会会議（再開）
3	7	木	令和6年守山市議会3月定例会会議（再開）
3	8	金	令和6年守山市議会3月定例会会議（再開）
3	12	火	令和5年度守山市立守山北中学校卒業証書授与式
3	13	水	寄贈式（JAバンク 補助教材「農業とわたしたちの暮らし」） 守山市こども環境新聞コンクール表彰状授与式
3	14	木	令和5年度守山市立速野幼稚園修了証書授与式 令和6年守山市議会3月定例会会議：文教福祉常任委員会
3	15	金	令和5年度守山市立小津小学校卒業証書授与式 令和6年守山市議会3月定例会会議：文教福祉常任委員会
3	16	土	2023年度立命館守山中学校卒業証書授与式、令和5年度古高鼓踊り保存会総会
3	18	月	令和6年守山市議会3月定例会会議：文教福祉常任委員会
3	19	火	贈呈式（滋賀県遊技業協同組合湖南支部 学校図書）
3	20	水	令和5年度守山市バレーボール連盟会長杯もりばれの街バレーボール大会 令和5年度守山市子ども会連合会後期総会
3	21	木	令和6年第3回守山市教育委員会定例会、令和5年度守山市スポーツ推進計画策定協議会

令和6年守山市議会3月定例会月会議教育委員会関係質疑の概要について

令和6年守山市議会3月定例会月会議 質疑・質問一覧表（教育委員会分）

No.		議員名	質問事項	答弁者	担当課
1	代表-01	新野 富美夫	2 重点事項「安心して子育てができる環境と支援体制」 (1) 待機児童対策について	市長	こども政策課 保育幼稚園課
2	代表-01	新野 富美夫	(2) 不登校対策について	市長	学校教育課
3	代表-02	藤原 浩美	2 守山市政の課題について (4) 学校教育について ①大規模化の解消について	市長	教育総務課
4	代表-02	藤原 浩美	②教員不足の解消について	市長	学校教育課
5	代表-02	藤原 浩美	③学校給食費の無償化について	市長	保健給食課
6	代表-02	藤原 浩美	3 子育てについて (1) 幼児教育施設の整備について	市長	こども政策課 保育幼稚園課
7	代表-02	藤原 浩美	(2) 子どもの健やかな成長について ②保育・教育施設における感染症対策について	市長	保健給食課 保育幼稚園課
8	代表-03	二上 勝友	1 防災について (2) 学校教育における児童生徒への防災教育について	市長	学校教育課
9	代表-03	二上 勝友	2 子育て支援について (1) 教育環境における負担軽減に向けてのさらなる支援拡充について	市長	学校教育課
10	代表-03	二上 勝友	3 不登校対策について (1) 不登校対策に向けた組織の連携および支援の継続性について	市長	学校教育課
11	代表-05	北野 裕也	1 令和7年に第二次世界大戦後80年を迎えるにあたっての戦後教育の総括について (1) 守山市は歴史的経緯に影響され道徳教育を忌避する状況であるか。	市長	学校教育課
12	代表-05	北野 裕也	(2) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する心、我が国の伝統と文化、国を愛する態度の習得は進んでいるか。	市長	学校教育課
13	代表-05	北野 裕也	(3) 道徳は、他の教科書等に比べて軽んじている状況であるか。	市長	学校教育課
14	個人-03	川本 佳子	3 P T Aの在り方と負担軽減について	教育長	社会教育・文化振興課
15	個人-04	小牧 一美	1 安心できる災害への備えについて (2) 体育館への空調設備設置を	市長	教育総務課
16	個人-04	小牧 一美	3 子どもの「戸惑い」に寄り添った支援について (1) 特別支援を要する子の実態と支援について	こども家庭部長	発達支援課
17	個人-04	小牧 一美	(2) 子どもの「戸惑い」を解決する教育について	教育長	学校教育課
18	個人-05	上田 佐和	2 待機児童対策について (1) 預かり保育料について	こども家庭部長	保育幼稚園課

No.		議員名	質問事項	答弁者	担当課
19	個人-05	上田 佐和	4 守山小学校での不祥事に関する再発防止対策について (1) 市民の不安に対する対応について	教育長	学校教育課
20	個人-05	上田 佐和	(2) 報告基準について	教育長	学校教育課
21	個人-05	上田 佐和	(3) 今後想定される対応について	教育長	学校教育課
22	個人-05	上田 佐和	(4) 危機管理の考え方について	教育長	学校教育課
23	個人-07	筈井 昌彦	1 守山市の文化財について (1) 文化財の修理、継承、担い手など現状と今後の進め方について	市長	文化財保護課
24	個人-07	筈井 昌彦	(2) 文化財の防災設備の現状と対策について	市長	文化財保護課
25	個人-07	筈井 昌彦	(3) 文化財保存活用地域計画の文化財の把握調査について及び計画を生かした地域活性化などの取り組みについて	市長	文化財保護課
26	個人-07	筈井 昌彦	(4) ふるさと守山を誇る心を育むことの大切さについて	教育長	文化財保護課
27	個人-10	今江 恒夫	3 市内公立小中学校における教職員の職場環境の改善について	教育長	学校教育課
28	個人-11	北野 裕也	1 守山市の教科書選択について (1) 教科用図書第二選択地区協議会の委員と議事録について	教育長	学校教育課
29	個人-11	北野 裕也	(2) 市民の声が教科書選定に反映できる環境づくりについて	市長	学校教育課

代表-1(総括)	守政会 新野 富美夫 議員	市長	こども政策課・保育幼稚園課
大項目	2 重点事項 「安心して子育てができる環境と支援体制」		
中項目	(1) 待機児童対策について		
小項目	-		

次に、2項目目「安心して子育てができる環境と支援体制」の1点目「待機児童対策」について、近年の保育園の整備においては、公有地を活用した民設民営もしくは、よしみ乳児保育園のような公設民営で運営しています。

このような中、民設民営による用地確保については、ご指摘のように難しさがある一方で、公有地を活用する場合と比べると土地の形状や場所などの制限がなく、より自由な施設の設置が可能となり、運営の幅が広がることから、よりよい保育につながるものと期待をしています。まずは、保育園の設置運営の公募にあたっては、市ホームページでの掲載およびこれまで本市に問い合わせがあった事業者への連絡等、事業者向けに積極的に周知を行い、設置を希望する事業者から問い合わせがあれば、必要な情報の提供など丁寧な対応を行ってまいります。

ソフト対策については、保育士の確保と定着化に向けて今年度に様々な制度の創設・拡充に取り組みましたが、来年度にはさらなる対策として、現在民間保育園・こども園に勤務する保育士に対し市独自に実施している給料の処遇改善の拡充を行います。これは、新たに勤務を検討している保育士や現在働いている保育士に市からの支援額がわかりやすくなるよう単価方式に変更し、さらには、長く継続して勤務していただけるよう勤務年数に応じて金額が確実に上昇していく制度に変更するものです。

具体的には、『もりやま手当』として民間保育園・こども園に勤務する常勤の保育士に対し1年目年額10万円、4年目からは5年毎に2万円ずつ上昇し、最大20万円を、園を通じて月々の給与に上乗せして支給する制度とします。本制度の実施にあたり、園からの給与明細には本制度に基づく手当であることと金額の明記をすることを要件として

いるため、市からの支給額を保育士本人が容易にチェック出来るものとなります。

また、幼稚園への入園希望者を増やすための対策として、現在、実施している「未就園児事業」のさらなる充実を進めるとともに、令和7年度から「幼稚園給食」および「預かり保育の拡充」を実施できるよう、準備を進めていきたいと考えています。これら3点の取組を通し、幼稚園の魅力向上を図り、保護者の皆さまが幼稚園を希望していただける様に取り組みを着実に進めていきたいと考えております。

代表-2(総括)	日本共産党議員団 藤原 浩美 議員	市長	教育総務課
大項目	2 守山市政の課題について		
中項目	(4) 学校教育について		
小項目	① 大規模化の解消について		

4点目「学校教育」についてのご質問、まず1つ目「大規模化の解消」について、学校は、未来を担う児童生徒が豊かな学びと生きる力を培う重要な場であることから、守山市学校施設長寿命化計画に基づき、各学校のあり方を検討した上で、適切な学校施設の整備を行っており、大規模校においても一定の教育環境は確保できていると認識しています。

今後の民間住宅の開発状況を見込んだ児童生徒数の推計では、今後、ゆるやかな減少傾向に転じると予測していますことから、学校の分離新設については、現段階では検討していません。引き続き、企業誘致が進むことによる民間の開発動向も注視し、児童生徒数の推移状況を把握するなか、適正な教育環境の確保に向けて取り組んでまいります。

代表-2 (総括)	日本共産党議員団 藤原 浩美 議員	市長	学校教育課
大項目	2 守山市政の課題について		
中項目	(4) 学校教育について		
小項目	② 教員不足の解消について		

2つ目「教員不足の解消について」は、まず国には教職員定数における基礎定数・加配定数の拡充を図ること、県には年度初めの産育休の取得者の状況を見込んだうえで、余裕をもった正規教員の採用を積極的に進めるとともに、非正規教員を確保するための柔軟な雇用体制を構築していただくこと等を、強く要望しているところです。

代表-2 (総括)	日本共産党議員団 藤原 浩美 議員	市長	保健給食課
大項目	2 守山市政の課題について		
中項目	(4) 学校教育について		
小項目	③ 学校給食費の無償化について		

次に3つ目「学校給食費の無償化について」、憲法の規定する義務教育の無償は、最高裁判決において授業料不徴収のこととされており、学校給食の無償とは切り離して考えるべき問題と認識しています。

本市では、学校給食費にかかる保護者負担軽減として、経済的な理由により支払いが困難なご家庭に対して、就学援助制度や生活保護制度により全額支援しているところです。

また、学校給食にかかる食材費を全額公費で負担するとなれば、多額の財源が必要であり、他の施策との優先順位を慎重に検討する必要があるため、現時点において、学校給食費無償化の導入については考えておりません。

代表-2 (総括)	日本共産党議員団 藤原 浩美 議員	市長	こども政策課 保育幼稚園課
大項目	3 子育てについて		
中項目	(1) 幼児教育施設の整備について		
小項目	-		

次に、3項目目、「子育て」について、1点目「幼児教育施設の整備」について、本市では、次期子ども・子育て応援プランの策定を進めており、就学前および小学校の保護者を対象とした保育ニーズ調査と人口推計等から保育の見込量を算出するにあたり、企業誘致の影響を加味するなど、より精緻な計画を策定し、今後の保育ニーズに応えられるよう取り組んでまいります。

また、新園の整備については、これまでから一貫して申し上げているとおり、民間園において良質な保育が提供されてきた運営実績、更には民間の創意工夫による多様な保育ニーズへの対応が十分に行われてきたことを踏まえ、民間のノウハウと人材ネットワークによる保育士確保への期待、更には国県補助を十分活用できるという点から、民間による整備で計画しています。

令和7年度から、幼稚園給食を開始する予定ですが、幼稚園に調理施設を整備することについては、施設的な課題や全園の整備を行う整備費用の課題があることから困難であると考えています。また、給食センターの整備についても、土地取得や整備費用の課題があることから、自園調理施設の整備同様に困難であると考えており、将来においても搬入方式での給食提供を実施する方向で考えています。

なお、搬入方式の給食については、温かい給食の提供が可能な食缶方式での搬入について検討を進めてまいります。

代表-2 (総括)	日本共産党議員団 藤原 浩美 議員	市長	保育幼稚園課 保健給食課
大項目	3 子育てについて		
中項目	(2) 子どもの健やかな成長について		
小項目	②保育・教育施設における感染症対策について		

次に2つ目「保育・教育施設における感染症対策」について、市内園においては、空気清浄機またはサーキュレーターを設置や、換気を図るなど、園の状況に応じて適宜適切な感染症対策を実施しているところです。

また、市内小中学校においても、すでにストリーマ空気清浄機を各校2台ずつ設置し活用するとともに、対角線上に窓を開ける、休み時間ごとに窓を全開にする等十分な換気を行っているところです。

実際に、CO2 モニターにて換気の効果を確認したところ、二酸化炭素濃度は望ましいとされている1000ppmを下回る結果が出ています。

そうしたことから、サーキュレーターおよび空気清浄機のさらなる導入については、現時点では考えていません。

引き続き、適切な換気、手指消毒等の基本的な感染対策を実施してまいります。

代表-3(総括)	日本維新の会 二上 勝友 議員	市長	学校教育課
大項目	1 防災について		
中項目	(2)「学校教育における児童生徒への防災教育について」		
小項目	—		

2 点目「学校教育における児童生徒への防災教育について」

防災教育は市民全体で、意識の向上に取り組んでいかなければならないと考えており、特に小中学校では、防災への関心を高め、防災に携わるきっかけづくりをすることが必要だと考えます。

市内各校では、防災計画を作成し、定期的に具体的な災害の場面を想定した避難訓練を行っているところです。また、「災害時給食」という日を設け、災害時にはどのような食環境となるのかについて実感し、防災について考えるきっかけにする機会も設けています。

また、中学生においては、地域での防災訓練にも参加して、地域の一員として実践的な活動に取り組んでいます。

様々な場を通じて、防災に対する知識や自然災害から身を守る能力、また進んで他の人々や地域の安全を支えることができる態度を育むことで、能動的に防災に対応することのできる力を培ってまいります。

代表-3(総括)	日本維新の会	二上 勝友 議員	市長	学校教育課
大項目	2 子育て支援について			
中項目	(1) 教育環境における負担軽減に向けてのさらなる支援拡充について			
小項目				

次に2項目目「子育て支援について」、本市では、学校教育法に基づき、経済的な理由で義務教育が就学困難とならないように、支援が必要な保護者に対して就学援助費や特別支援教育就学奨励費による学用品費等に対する給付を行っています。

義務教育期間終了後においても、本市独自の育英奨学制度により、高校生や大学生等に学費の貸与を行っているところであり、令和4年度からは大学生等に対する返還免除型奨学金の貸与も開始しています。

また、学校以外での支援として、来年度からはフリースクール等の利用に対する補助金を創設するとともに、経済的な不安を抱える世帯の子どもも通える放課後の居場所づくりや学習支援を拡充します。

なお、「安心して子育てができる環境」は、経済的不安がないことはもとより、学校、家庭、地域社会など子どもを取り巻く様々な場面での環境整備と児童・生徒の特性を踏まえた対応が必要であると考えており、今後も、必要な経済的支援はもとより、きめ細かい子育て環境の整備や子育て支援を行ってまいります。

代表-03(総括)	日本維新の会 二上 勝友 議員	市長	学校教育課
大項目	3 不登校対策について		
中項目	(1) 不登校対策に向けた組織の連携および支援の継続性について		
小項目	-		

次に3項目目の「不登校対策について」の1点目、「不登校対策に向けた組織の連携および支援の継続性について」、小学校就学前から高等学校段階まで切れ目ない指導・支援の重要性を各校園に周知し、学校園間の円滑な引継ぎを進めています。特に、特別な支援を必要とする園児児童生徒に対しては、市内共通様式で個別支援計画を作成し、利活用を推進しています。

一方、個別支援計画の有無にかかわらず、学校は児童生徒の困り感に応じた適切な支援ができるよう必要に応じて関係機関とケース会議を開催するなど、切れ目ない支援の実現を目指して取り組んでいます。引き続き、特別支援教育、生徒指導、教育相談等それぞれの連携をより充実させ、不安を抱える児童生徒や保護者に寄り添った支援を展開してまいります。

代表-5(総括)	参政党 北野 裕也 議員	市長	学校教育課
大項目	1 令和7年に第二次世界大戦後80年を迎えるにあたっての戦後教育の総括について		
中項目	(1) 守山市は歴史的経緯に影響され道徳教育を忌避する状況であるか。		
小項目	—		

ただいまは1項目3点のご質問を賜りましたので、お答え申し上げます。

1 項目目「令和7年に第二次世界大戦後80年を迎えるにあたっての戦後教育の総括について」の1点目「道徳教育そのものを忌避する状況かについて」

現在は、全学年で週一時間、「特別の教科 道徳」が位置付けられています。加えて、学校における道徳教育は、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童・生徒の発達段階を考慮して学校の教育活動全体を通じて行っており、当然のことながら、「道徳教育そのものに忌避する状況」にはありません。

代表-5(総括)	参政党 北野 裕也 議員	市長	学校教育課
大項目	1 令和7年に第二次世界大戦後80年を迎えるにあたっての戦後教育の総括について		
中項目	(2) 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する心、我が国の伝統と文化、国を愛する態度の習得は進んでいるか。		
小項目	—		

次に2点目「『郷土と国を愛する態度』の育成について」、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要である道徳科においては、22種類の内容項目を扱っており、1年間ですべての項目について学んでいます。

この中には、当然のことながら、ご質問の「郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」「我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度」に関する内容も含まれております。

代表-5 (総括)	参政党 北野 裕也 議員	市長	学校教育課
大項目	1 令和7年に第二次世界大戦後80年を迎えるにあたっての戦後教育の総括について		
中項目	(3) 道徳は、他の教科等に比べて軽んじている状況であるか。		
小項目	—		

3点目について、先ほども申しあげたように、学習指導要領に則り、検定を経て採択された教科書を使用して、週に1時間、「特別の教科 道徳」の授業を実施し、他教科と同様、評価も行っています。

また令和5・6年度の2年間は、文部科学省と滋賀県教育委員会指定の「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」を受け、道徳教育の充実を図っているところであり、「道徳は、他の教科等に比べて軽んじている状況」にはありません。

個人-3 (一問一答)	共産党 川本佳子議員	教育長	社会教育・文化振興課
大項目	3 P T Aのあり方と負担軽減について		
中項目	—		
小項目	—		

次に3項目目「P T Aのあり方と負担軽減について」、P T Aは、保護者と教員で構成する社会教育団体のひとつで、子どもたちの健やかな成長に必要な団体であると考えています。また、学校と密接な関係がありますが、公の支配に属さず自主的に運営される団体であることから、その取組は尊重されるべきものと認識しています。

P T Aのあり方については、本市の学校園における各単位P T Aにおかれても、任意団体としての加入についての手続きや役員をはじめ会員活動の負担感などに課題認識を持ち、改革に向けた取組を進められていると承知しています。議員ご指摘の市内小学校P T Aでは、業務を見直すことで会員の負担を減らすことを目指し取り組まれたものです。具体的に、まずは、子どもの安全を守る業務のみを運営することで、会員の負担軽減、会費の大幅な減額など、多くの保護者が参加しやすい組織へと改革を進められているものです。集団登校についても、非加入世帯の子どもを含むすべての子どもの安全に配慮した運用を考えられているところです。

教育委員会としましては、P T Aが任意団体として学校園の規模や地域の特色に応じ、時代に即した柔軟な運営に向けた改革を進め、すべての子どもたちの健全な成長を目的とする活動を展開できますよう、引き続き支援してまいります。

個人-04(一問一答)	日本共産党議員団 小牧 一美議員	市長	教育総務課
大項目	1 安心できる災害への備えについて		
中項目	2 体育館への空調設備設置を		
小項目	-		

「体育館への空調設備設置」について、

小中学校の体育館は児童生徒が体育の授業や部活動で使用するほか、災害発生時において避難所としても使用する施設であり、また、近年、気候変動の影響により、特に、今年度の夏は全国的に平年よりも気温が高い日が続いており、空調設備の必要性については認識しています。

しかしながら、空調の設置についての文部科学省の補助要件では、効率的な冷暖房を行うために断熱性の確保が必要となっており、その他に電気容量の増設、ランニングコストを考慮した効果的な空調機器の設置等、施設改修にあたっては、非常に多額の費用と様々な検討が必要となってきます。

また、避難所指定をしている体育館への空調設置は、「緊急防災・減災事業債」の活用も可能ですが、この地方債は、東日本大震災を機に平成 23 年度に創設されて以来、5 年毎に延長されており、令和 7 年度で終了予定となっています。

今後におきましては、体育館の空調設備に関する事業手法、空調機器、事業費、財源確保等の様々な課題があることから、慎重な判断が必要であると考えております。

個人-4 (一問一答)	日本共産党議員団 小牧 一美 議員	こども家庭部長	発達支援課
大項目	3 子どもの「戸惑い」に寄り添った支援について		
中項目	(1) 特別支援を要する子の実態と支援について		
小項目			

それでは、3項目目「子どもの「戸惑い」に寄り添った支援について」の1点目「特別支援を要する子の実態と支援について」、まず、中学校支援学級在籍生徒数の増加につきましても、小学校の時点での支援学級在籍児童数が増加したことに伴う結果と捉えています。

この小学校時点での増加の要因としては、特別支援教育への保護者の理解が以前より深まり、我が子に「個別最適な学び」を望む声が多くなったことが大きな要因と捉えています。またなかでも、自閉症・情緒障害特別支援学級への入級者の増加が著しいのですが、これは、一番には発達障害についての認知度が上がり、本人の努力不足ではなく特性として認識し支援する必要があるとの考えが広がったことによるものと考えられます。

また、発達支援システムの学齢期における取り組みの課題としては、不登校や、家庭以外の場所では話したり声を出したりすることが出来ない症状が続く緘黙（かんもく）、愛着障害など多様化した発達課題に対応するため現場に出向く相談体制の充実や、将来の自立を見越した長期的な目標をもち、“生きる力”を育むための支援の充実を図る取り組みなどが求められているところです。

今後も、発達支援システムの当初からの基本目標である「生涯にわたる一貫性のある継続的な支援」を推進するため、将来の自立を目指した支援が学校現場で作成された個別支援計画に積み上げられ、義務教育終了後も引き継がれるよう、関係課、関係機関と連携しながら発達支援の充実を図ってまいります。

個人 04(一問一答)	日本共産党議員団 小牧 一美 議員	教育長	学校教育課
大項目	3 子どもの「戸惑い」に寄り添った支援について		
中項目	(2) 子どもの「戸惑い」を解決する教育について		
小項目	—		

ご質問の「子どもの『戸惑い』を解決する教育」について、

不登校を予防し、すべての子どもが安全・安心で楽しい学校生活を送るためには、学級経営の充実が不可欠です。学校現場では、教員と子どもの信頼関係の構築を図るだけでなく、子どもたち同士が互いの得意なことや苦手なことを認め合い、相互補完的に支え合える人間関係を目指した学級づくりに努めています。また発達支援の視点では、子どもの発達の課題や背景に対して、発達支援センター等と連携し、多面的な見方で一人ひとりの子どもの「困り感」に寄り添った支援の充実を図っており、市教委と福祉部局が協力して課題の解決に努めています。

次に、学級経営の力を高めるために本市では、教員支援アドバイザーによる具体的な事例をもとにした学級づくり研修や、スクールカウンセラーを招いた生徒指導・教育相談研修などの実践的な研修を設け、教員のスキルを高めています。さらに各学校では、よりよい学級づくりや子ども理解などについて、先輩教員から若手教員に向けての研修会を開いたり、さまざまな年齢や経験の教員が集まり、日々の学級経営について語り合ったりするなど、教員同士の学び合いも行われているところです。今後も専門的・実践的な市の研修と、目の前の子どもの実態に応じた各校での研修を充実させることで、教員の資質能力の向上を図ってまいりたいと考えております。

最後に、教員不足を解消するために、まず国には教職員定数における基礎定数・加配定数の拡充を図ること、県には年度初めの産育休の取得者の状況を見込んだうえで、余裕をもった正規教員の採用を積極的に進めるとともに、非正規教員を確保するための柔軟な雇用体制を構築していただくこと等を、強く要望しております。

個人-5 (分割)	上田 佐和 議員	こども家庭部長	保育幼稚園課
大項目	2 待機児童対策について		
中項目	(1) 預かり保育料について		
小項目	-		

ご質問の「待機児童対策について」の1点目「預かり保育料」について、「公立園と民間園で差があり、市内の園であれば同額にしてはどうか」とのご意見については、先の実望での回答のとおり、民間園において様々な工夫を凝らし運営が行われる中、法令等で上限等の定めがないことから、市で民間園の利用料を指定して市内一律同額とすることが困難です。

また、今回仰せの「待機児童が解消するまでの間でもスポット的に料金の差額の補填ができないか」というご質問ですが、本市の待機児童は1・2歳児を中心に多く発生していることや、預かり保育の利用をされる3～5歳児については、待機児童の解消を見込んでおり、待機児童対策として、市独自に差額を補填することによる効果は少ないものと考えています。

市としては、幼稚園の希望者が増えるよう幼稚園の魅力向上に取り組む中、令和7年度から、公立幼稚園における預かり保育の利用時間の拡大を優先度の高い園から順次実施する予定をしており、今後においても、待機児童の安定した解消を目指してまいります。

個人-5(分割)	上田 佐和 議員	教育長	学校教育課
大項目	4 守山小学校での不祥事に関する再発防止対策について		
中項目	(1) 市民の不安に対する対応について		
小項目	-		

ご質問の「守山小学校での不祥事に関する再発防止対策」についてお答えします。

まず、この件「守山市立守山小学校教諭の不祥事および守山市教育委員会と学校の対応」につきまして、被害にあわれた方をはじめ、子どもたち、保護者はもとより市民の皆様にご多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、たいへん申し訳なく思っております。二度とこのようなことを起こさぬよう、今後も再発防止に徹底して取り組み、皆様の信頼を一日も早く回復できるよう全力を尽くしているところでございます。

それでは、ご質問にお答えします。

1点目、「市民の不安に対する対応について」は、同じ過ちを繰り返さぬよう、今回の不祥事および不適切な一連の対応に真摯に向き合い、再発防止に徹底して取り組んでいます。議員ご指摘の報告書に記載しています「再発防止にむけて」の2番目、不適切な事務処理の発生防止への対応のうち、「初動対応に係る認識の徹底」「閉じた場での判断をしないという意識改革」につきましては、速やかに報告することの必要性や重要性を教育委員会内での会議や校園長会など機会があるごとに確認し合い、意識づけを繰り返し行っています。具体には、市長や副市長と毎週行う三役懇談会の中で、懸案事項を確実に情報共有し、県教委や教育委員等へも速やかに報告し、今まで以上に協議を行い、適切な対応につなげています。また、「組織風土への改革」につきましては、市教委は市内小中学校の管理職研修会や市内教職員の全体研修会の場合などにおいて、コンプライアンスや業務改善に関わる研修等を行い、職員同士が相談しやすい、風通しのよい職場となるよう改革を推進しています。今後も再発防止に向けた取組を徹底し、市民の皆様にご与えた不安の回復に尽力します。

個人-5(分割)	上田 佐和 議員	教育長	学校教育課
大項目	4 守山小学校での不祥事に関する再発防止対策について		
中項目	(2) 報告基準について		
小項目	-		

2点目、「報告基準について」は、「市町立小中学校・義務教育学校 県費負担教職員人事事務提要」の事故報告の項において、「教職員等が災害等で死傷する事故や重大な非行があった場合は、速やかに校長は市町教委に報告し、市町教委は速やかに電話またはメールで速報の様式により県教委に報告した後、文書で報告すること」と記されています。この基準を把握していましたが、被害にあわれた方が被害届を出す時点で県教委に報告すればよいとの誤った認識を持っていたことから、この事案については報告が遅れました。こうした不適切な対応を二度と起こさないように、報告基準に基づき、速やかに報告することの徹底をしているところであります。

個人-5(分割)	上田 佐和 議員	教育長	学校教育課
大項目	4 守山小学校での不祥事に関する再発防止対策について		
中項目	(3) 今後想定される対応について		
小項目	-		

3点目、「今後想定される対応について」は、もし被害者が公にしないでほしいといった事案が発生した場合であっても、警察や県教委などの連絡すべきところには、速やかに報告いたします。公にしてほしくない本人の思いを警察や県教委にしっかりと伝えることで、安心して被害届を出せるよう適切に事務処理を行います。今回の不適切な初動の対応を二度と繰り返さないよう取り組んでいきます。

個人-5(分割)	上田 佐和 議員	教育長	学校教育課
大項目	4 守山小学校での不祥事に関する再発防止対策について		
中項目	(4)危機管理の考え方について		
小項目	-		

4点目、「危機管理の考え方について」は、今回、学校が混乱することへの懸念から、被害にあわれた方に被害届の提出を思いとどまらせることになり、被害者の気持ちに寄り添った対応や迅速・適切な事案対応という点から不適切でした。その結果、被害にあわれた方に、さらに、長期にわたって苦しい思いをさせることとなってしまいました。このことについて強く認識しており、責任を痛感している次第です。

こちらの不適切な対応により、繰り返しとなりますが、たいへん長い期間、つらく悲しい思いをさせたことをほんとうに申し訳なく思っております。

この反省を生かし、学校に関わるすべての方にとって安全・安心な学校づくりに誠心誠意尽くしてまいります。

以上、答弁いたします。

個人-7 (一問一答)	守政会 筈井 昌彦 議員	市長	文化財保護課
大項目	1 守山市の文化財について		
中項目	(1) 文化財の修理、継承、担い手など現状と今後の進め方について		
小項目	-		

それでは筈井議員のご質問にお答えいたします。

議員仰せのとおり、守山市には、市の歴史文化の豊かさを示す数多くの文化財が所在しており、その保存修理にあたっては、日頃より所有者や管理者との連携を密にし、情報共有を図る中で、その保存状態等を把握するとともに必要に応じて財政支援を行い、適宜専門家の指導を受けながら計画的に実施しています。

また、無形民俗文化財を保存継承するため、各種の補助金制度による財政支援はもとより、中長期的な後継者育成の観点から、文化庁の「伝統文化親子教室事業」を活用した担い手育成の取組に対して支援を行っています。

本市には、現在、150箇所以上の遺跡があり、開発に先立ち実施する発掘調査にて発見された埋蔵文化財については、守山市立埋蔵文化財センターにおいて整理、保管、収蔵するとともに、その一部を、埋蔵文化財センターをはじめ伊勢遺跡史跡公園や下之郷史跡公園、市庁舎の文化財発信スペース等で展示公開するなど、その成果を活用しています。

これら市内に伝わる多種多様な文化財は、市民共有の財産であり、それらを適切に保存・活用し、将来につなげていくことは、今の私たちが担うべき重要な責務であると認識しております。

今後も『守山市文化財保存活用地域計画』に基づき、文化財を適切に保存・活用し、次世代へ継承してまいります。

個人-7(一問一答)	守政会 筈井 昌彦 議員	市長	文化財保護課
大項目	1 守山市の文化財について		
中項目	(2) 文化財の防災設備の現状と対策について		
小項目	-		

「文化財の防災設備の現状と対策」について、文化財は消失すると歴史的価値が失われ、再び元通りに回復することが困難なことから、日頃から防火防災の意識を絶やさず、対策を徹底することが重要です。

市では、指定文化財を災害や盗難等から護るため、その所有者が行う防災・防犯設備の設置工事等に対し財政支援を行っており、今年度もこの補助事業を活用し、収蔵庫に防災設備や防犯設備を設置されたほか、既設の防災設備についても専門業者による保守点検を実施されるなど、文化財の防災・防犯対策の推進に努めているところです。

次に、耐震への取組についてですが、文化財の中でも、とりわけ伝統的様式や技法で建てられた木造建造物は、耐震性を確保することはもとより、文化財が有する意匠的、技術的、歴史的および学術的に優れた点を損なわないことが求められるなど、文化財ならではの耐震対策の難しさがあります。

そのような中、市内の重要文化財の建造物については、その所有者が文化庁の指針に基づき地震に対する対処方針を作成し、立入制限等による人的安全性確保のための対策を定めることで一定の安全性を確保するとともに、所有者には耐震対策にかかる研修を受講いただき、日頃からの意識向上に努めていただいているところです。

また、平成30年度にリニューアルオープンした市指定文化財の大庄屋諏訪家屋敷は、整備工事に先立ち耐震診断を実施しており、来館者に対する安全性の確保を図りつつ、文化財として適切な保存措置を講じています。

そのほかの文化財施設につきましては、所有者との情報共有を図る中で、耐震対策の必要性を周知してまいります。

個人-7 (一問一答)	守政会 筈井 昌彦 議員	市長	文化財保護課
大項目	1 守山市の文化財について		
中項目	(3) 文化財保存活用地域計画の文化財の把握調査について及び計画を生かした地域活性化などの取組について		
小項目	-		

「文化財保存活用地域計画の文化財の把握調査について及び計画を生かした地域活性化などの取組」について、これまでの文化財保護行政において、長年の土地開発に伴う発掘調査により、埋蔵文化財の把握調査の蓄積は充実している一方、多くの市民にとってより身近な文化財である民俗文化財や社寺等に伝わる美術工芸品の把握調査は十分とは言えない状況にあり、今後、地域総がかりによる文化財の保存と活用を進めていく上では、文化財の種類やその所在する地域のバランスを考慮した総合的かつ計画的な把握調査の推進が望まれています。

「守山市文化財保存活用地域計画」では、「基盤づくり」、「地域づくり」、「人づくり」の三つの基本目標を掲げており、このうちの「基盤づくり」において、これら調査が十分でない美術工芸品や民俗文化財等の把握調査に取り組むことを方針として定め、所有者や市民団体、行政など地域総がかりによる文化財の掘り起こしを推進しています。この方針に基づき、今年度、寺院に収蔵されている資料の調査を行ったところですが、来年度以降についても、地域にある貴重な資料を国の補助金を活用して調査を進めるとともに重要なものは適切に価値づけを行い、まちづくりに活用してまいります。

また、「地域づくり」では、「文化財に関する情報発信の強化、充実やハード・ソフト両面からの文化財の活用による地域活性化への寄与」を基本目標として定める中、様々な取組を推進しています。具体的には、伊勢遺跡史跡公園の開園を契機として制作した市内文化財プロモーションビデオをYouTubeなどのSNSで公開するとともに、市庁舎や図書館などの公共施設でも効果的に放映し、幅広い世代に文化財の周知を図っているほか、市庁舎において、1階の展示コーナーや大型モニターを活用した情報発信を積極的に行うなど、文化財を身近に感じていただくための取組を実践しています。

併せて、昨年10月から12月にかけては、市内各地にある文化財を周遊する文化財デジタルスタンプラリー「もりやまルート旅」を関係機関と連携して実施し、市内外の来訪者が守山の歴史文化に触れる新たな機会の創出に取り組んだところです。

今後も文化財を単体の資産としてではなく、その周辺環境も含めた総合的なまちづくりに活かせるよう、地域の活性化に資する文化財の保存と活用に取り組んでまいります。

最後に「人づくり」については、文化財の保存継承を担う地域の担い手育成への支援はもとより、文化財保護行政に携わる専門的な人材の確保も重要であると認識しており、来年度より、次世代を担う大学生を対象に、文化財の保存と活用に関する実践的な経験を積む機会を創出してまいります。

これら3つの基本目標に基づく各種取り組みを着実に推進し、将来像である「豊かな歴史文化と共生するふるさと守山づくり」の実現を目指してまいります。

個人-7(一問一答)	守政会 筈井 昌彦 議員	市長	文化財保護課
大項目	1 守山市の文化財について		
中項目	(4) ふるさと守山を誇る心を育むことの大切さについて		
小項目	-		

「ふるさと守山を誇る心を育むことの大切さ」について、議員仰せの通り、守山市の歴史文化、ゆかりの人物、恵まれた自然等を学び、自らを誇れる地域の一員であるという心を育むことは、本市の将来を担う子どもたちにとって大変重要なことであると認識しています。

現在、市内小学校3、4年生の社会科の学習現場において「わたしたちの守山」という副読本が使用されています。本書は、地域を通して学ぶ社会科の補助教材として教員が中心となって作成されており、守山の地域の特色や歴史的な変遷、守山に残る伝統文化などを取り上げています。

また、下之郷史跡公園などの文化財施設においては、高学年を対象に歴史学習の場を提供しており、昨年11月に開園した伊勢遺跡史跡公園におきましても、これまで、伊勢遺跡保存会の協力を得て物部小学校6年生を対象に実施してきた歴史学習を深めるとともに、職員による出前授業などを含め市内全小中学校に拡充するなど、積極的な活用を図ってまいります。

このように、副読本や歴史学習は、子どもたちがふるさと守山の歴史文化や自然に親しみ、その知識や理解を深める教材として有効であることから、今後もこれらを効果的に活用し、郷土を愛する心の醸成につなげてまいりたいと考えます。

最後に、「守山市文化財保存活用地域計画」におきましても、「人づくり」を基本目標の一つとして掲げ、「守山の歴史文化を愛し、その継承と振興を担う『守山びと』を育てる」としているように、引き続きふるさと守山を誇る心を育む取組を計画的に推進して

まいります。

個人質問（一問一答）	守政会 今江 恒夫 議員	教育長	学校教育課
大項目	3 市内公立小中学校における教職員の職場環境の改善について		
中項目	—		
小項目	—		

ご質問の「市内公立小中学校における教職員の職場環境の改善について」ですが、本市における精神疾患による休職や特別休暇を1か月以上取得した教職員は、今年度2月末現在、小学校6名、中学校6名であると把握しており、全国の調査と同じく増加傾向です。

教職員の職場環境の改善とメンタルヘルス対策については、管理職が日常的に教職員の表情等を観察し、心身の不調の早期発見に努めています。具体には、時間外労働の状況報告をもとに、月45時間を超えた教職員を把握し、とりわけ月80時間を超えた教職員につきましては、管理職が健康面の状況を丁寧に聞き取り、業務の効率化をはじめとした改善への気づきを促しています。場合によっては、産業医との面接をすすめ、本人に寄り添った対応を心がけています。

また、教育委員会や各学校では、ハラスメントをはじめとする悩み事を相談できる担当窓口を設けており、安心して仕事ができる環境づくりに努めています。生徒へのメタバース保健室は、取組そのものが始まったばかりであり、とりわけ教職員の活用による効果がどの程度得られるのかなど、今後の動向を注視してまいります。

今後も、市内の小中学校の教職員が誇りや情熱を失うことなく、心身ともに元気な姿で子どもと向き合いながら働き続けられるよう、職場環境の改善に尽力してまいります。

個人-11(一問一答)	参政党 北野 裕也 議員	教育長	学校教育課
大項目	1「守山市の教科書採択について」		
中項目	(1)「教科用図書第二選択地区協議会の委員と議事録について」		
小項目	—		

1点目「現在の守山市で使用されている教科書は、『どの様に、だれが、なぜ』選定しているのか。」についてお答えします。

守山市で使用されている教科書は、教科用図書第二採択地区協議会規程に則って選出された協議会委員が、協議会において決定しています。教科・種目ごとに、学習指導要領の内容、教材や資料の構成、多様性の尊重や環境等現代的な諸課題についての工夫、など複数の観点に照らし合わせて調査を行い、その結果をもとに選定しています。

個人-11(一問一答)	参政党 北野 裕也 議員	市長	学校教育課
大項目	1「守山市の教科書採択について」		
中項目	(2) 市民の声が教科書選定に反映できる環境づくりについて		
小項目	—		

ご質問の「市民の声が教科書選定に反映できる環境づくり」についてお答えします。

教科用図書は、法に則った協議会の協議を経て選定されています。また本市では、臨時教育委員会において、一般公開による教科書採択協議を行っています。

教育委員会制度の意義は、1つには政治的中立性の確保、2つには継続性・安全性の確保、3つには地域住民の意向の反映となっております。教科書選定は、この3つの意義に則って実施することが重要であり、今現在もこの3つの意義に則って採択されていると考えております。

守山市教育長 様

守山市長 森 中 高 史

守山市男女共同参画審議会委員の推薦について（依頼）

春陽の候 ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。

平素は、市政運営に、格別のご尽力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、本市では、男女共同参画の推進に関し必要な事項を調査およびご審議いただくため、「守山市男女共同参画審議会」を設置しております。

つきましては、ご多用のことと存じますが、貴機関より当審議会の委員としてご参画いただける方のご推薦をお願い申し上げます。

記

1 推薦委員・委員数 教育委員 1名

※市政への女性の参画を推進するため、可能なかぎり女性委員のご推薦についてご配慮をお願いいたします。

2 職務内容等

- (1) 会議等へ年間2回程度のご出席を依頼します。
- (2) 委員の任期は委嘱日から令和8年3月31日までです。

3 提出書類 別紙のとおり

- (1) 推薦書
- (2) 承諾書兼同意書

4月12日（金）までに人権政策課へご提出をお願いいたします。

4 設置規則 別紙のとおり

守山市総合政策部人権政策課 貝増
〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号
Tel 582-1116(直) Fax 582-0539
E-Mail jinkenseisaku@city.moriyama.lg.jp

寄付採納一覧について

令和6年3月21日現在

NO	月	寄付者	寄付物件	数量	評価額	合計評価額	寄付先	※ 1	※ 2	※ 3
1	2月	河西小学校PTA	自動体外式除細動器	1台	297,000円	297,000円	河西小学校			
2	2月	吉身幼稚園なかよし会	巧技台 蓋ゴム張 巧技台 ワイド蓋ゴム張 巧技台 枠(大) 巧技台 枠(小)	1個 1個 1個 1個	35,700円 39,900円 19,900円 13,500円	109,000円	吉身幼稚園			
3	2月	河西幼稚園PTAみどり会	デコレーションパネル	1セット	120,000円	120,000円	河西幼稚園			
4	2月	株式会社 スパッチオ・アキバスポーツ 代表取締役 相原 道廣	20人用のぼり棒 天幕付きテント	1式 1台	1,626,900円	3,344,880円	守山小学校	R6 ○		
			横断幕 看板(入学式・卒業式) 天井吊り下げモニター ネット登り遊具	2本 2台 1式 1式	1,717,980円		物部小学校			
5	3月	滋賀県遊技業協同組合 湖南支部	学校用児童図書	111部	176,539円	176,539円	市内小学校			

○守山市表彰条例（※1）

第5条 社会功労	(6) 公益のため金品の寄付をした者 一般寄付、ふるさと応援寄付を問わず、 市に対する寄付であれば該当	個人100万円以上 団体200万円以上 (教育後援会からの寄付を除く)
-------------	---	---

○守山市自治振興表彰内規（教育委員会）（※2）

第2条	(7) 公益のため金品を寄付した者	個人50万円以上、団体100万円以上 ※ただし、団体については、3年を限度に通算可。
-----	-------------------	---

○紺綬褒章等の授与基準について（※3）

褒章条例第1条の規定により紺綬褒章を授与する場合の授与基準	寄付金額 500万円以上
-------------------------------	--------------

教育委員会関係行事等について

行事名	担当課
令和5年度守山市教育研究発表大会の開催結果について	教育研究所
第41回野洲川健康ファミリーマラソン大会の開催報告について	スポーツ振興課

開催日時:令和6年2月14日(水)

会 場 :守山市民ホール(小ホール)

内 容 :中学生海外研修派遣団報告

全国学力・学習状況調査の考察等

教育研究発表(指導力向上に関する研究)

教育講演会「たねやグループのビジョン～手塩にかけて育てる心～」

講師 たねやグループ CEO 山本 昌仁 氏

参加者 :165人(教職員 103人、保護者・一般 62人)

※教育講演会評価 4.24(5点満点) 82人の回答

参加者の感想から(代表的な意見を抜粋)

○中学生海外研修派遣団報告

- ・海外に対して、子どもたちの様々な気づきを知ることができた。中学生などの時期に国際交流など経験することはとても大切なことだと感じた。(教職員)
- ・アメリカで見つけた日本との違いをうまくまとめられていた。スライドも見やすく分かりやすかった。生徒たちの素の思いを聞くことができた。(教職員)
- ・中学生の皆さん、よく頑張っておられた。英語のスピーチもよかった。アメリカで感じてきた気づき、驚きを素直に表現できていた。この経験を生かして欲しい。発表会の機会を今後も作って発信するだけでなく、外国の人に日本のことを伝えるなど新しいことにもチャレンジし、次の探究のサイクルにつなげてほしい。(保護者)



○全国学力・学習状況調査の考察

- ・学習調査は、子どもたちの学力を測るものだと思っていましたが、課題を検証し、先生の関わりの改善のためのものだということが分かり、見方が変わりました。(教職員)
- ・小中学校共に、ほぼどの教科でも平均を上回っているが、学校間で差異があると思うので、さらに授業改善に取り組む必要があると思われる。(教職員)
- ・守山市内の各校の結果を元に、学力の差がないよう努力してほしい。(教育委員)



○教育研究発表

- ・とても分かりやすい内容で、子ども自身が生活の場をよりよくしようとする主体性や自分事として捉える力が育つ過程がよくわかりました。(教職員)

- ・小学校で学級会の方法が身についていると中学校でも話し合い活動がやりやすくなります。小中で連携した取り組みが必要だと感じました。(教職員)
- ・子どもたちが楽しく問題に取り組み、楽しく行動する姿がとてよかった。(一般)
- ・学級づくりをテーマとして研究されていることに現場目線で素晴らしいと思いました。学級会も結局は“めたふ”で探究なのだと思います。先生方は“やり方がわからない”と言い訳にせず、子どもたちと共に“大切にしたいことを話し合う”という姿勢があればできていくのだと思います。(保護者)



○教育講演会

- ・菓子屋さんだから菓子のことだけを考えるのではなく、それに関わる素材やその背景にある環境、また、携わる人など、とても奥深いところまで考えることが今の発展につながっているのだと思った。私たちは、教育のことだけ考えていくのではなく、もっと広い視野で人を育てるとはどういうことか考えることが大切だと思った。(教職員)
- ・自分で1から10まで育てることで、“嫌い”だったものが“好き”になる瞬間を子どもたちと一緒に“喜び”を感じていきたい。米粒一つ一つを大切にすることなど、手を抜きそうになることを一つ一つ丁寧に“人”と接していきたい。(教職員)
- ・“空気の読めない経営者はつぶれていく”というような冒頭の言葉が心に残りました。“売り手よし買い手よし世間よし”を学校現場に置き換えてDXを推進していけたらいいなと思いました。そして働き方改革していきたいです。(教職員)
- ・「たねやで働けて良かった」という思いと同じように、「ここで学べてよかった」と思える学級にしたいです。(教職員)
- ・たねやさんの社員教育は若手教員の指導・支援にも生かせると思った。限られた時間ではあったが学ぶべきことの多い講演でした。(教職員)
- ・「社会の空気をつかむ」という点は、多様化する現代の学校現場においても非常に大切になると感じました。一人一人の子どもたちと向き合う姿勢を今後も大切にしていきたいと思います。(教職員)
- ・「当たり前のことを当たり前に行っていく」ことは、本当に難しいことだと思いますが、それだけではなく、「自分の味を出す」ことも頑張りたいと思いました。(教職員)
- ・米粒一つくらい捨ててもよい、お菓子一つくらい失敗してもよい…その考え方はプロフェッショナルとしては失格という言葉に、私たち教師も生徒を同じように見れているか、また見ていけないといけなくて改めて強く感じました。(教職員)
- ・いかに先を見通して、今のニーズに応じた取り組みをしていくことが大切かを学んだ。(保護者)
- ・“当たり前のことを当たり前につけていく”大切な言葉ですね。(一般)



ほたるのまち守山 第41回 野洲川健康ファミリーマラソン大会実施報告

【開催日時】 令和6年3月3日(日) 午前9時から正午まで 【天候】 晴れ
 【開催場所】 野洲川歴史公園サッカー場、野洲川中洲親水公園

2km	813 人
5km	42 人
合計	855 人

市内647人 市外180人 県外28人
 最年少2歳から最年長83歳まで



開会式



2kmの部



5kmの部



軽食販売



お楽しみコーナー



スタンプラリー



抽選会



サッカー教室



走り方教室



ほたるのまち守山 第41回 野洲川健康ファミリーマラソン大会参加状況一覧

1 年齢別参加者

(単位：人)

年齢	種目	2 km	前年比(人)	5 km	前年比(人)	合計
0歳	～ 6歳	121	±0			121
7歳	～ 12歳	336	+96			336
13歳	～ 15歳	11	-3	2	+2	13
16歳	～ 19歳	3	+1	2	+1	5
20歳	～ 29歳	1	-4	1	-1	2
30歳	～ 39歳	130	+10	1	-2	131
40歳	～ 49歳	177	+24	13	-4	190
50歳	～ 59歳	20	±0	17	+7	37
60歳	～ 69歳	4	-1	3	-2	7
70歳	～	0	-1	3	+3	3
不明	(書き忘れ)	10	+5			10
合計		813		42		855
		(95.1 %)		(4.9 %)		(100.0 %)
<第40回実績>		【2kmの部】 679人		【5kmの部】 38人		【合計】 717人
<第39回実績>		【2kmの部】のみ実施		560人		
<第38回実績>		【2kmの部】のみ実施		490人		

※事前申込制で2kmの部先着880名程度、5kmの部先着80名程度の募集とした。

※最年少参加者：2歳 ※最年長参加者：83歳

2 市内・市外・県外別の内訳

(単位：人)

参考(過去の市内・市外状況)

市内・市外・県外の別	参加者人数			
	第41回大会		第40回大会	
市内	647	76%	582	81%
市外	180	21%	117	16%
県外	28	3%	18	3%
(内訳)				
大阪府	9			
京都府	18		16	
奈良県				
三重県			2	
愛知県				
海外	1			
不明				
合計	855	100%	717	100%

	参加人数	市内	市外
第39回大会	560人(100%)	453人(81%)	107人(19%)
第38回大会	490人(100%)	372人(76%)	118人(24%)
第37回大会	新型コロナウイルスの影響により中止		
第36回大会	931人(100%)	497人(55%)	388人(42%)
第35回大会	999人(100%)	536人(54%)	445人(46%)
第34回大会	885人(100%)	462人(52%)	404人(48%)
第33回大会	895人(100%)	478人(53%)	417人(47%)
第32回大会	937人(100%)	482人(51%)	428人(46%)
第31回大会	905人(100%)	587人(65%)	318人(35%)
第30回大会	866人(100%)	534人(62%)	332人(38%)
第29回大会	712人(100%)	499人(62%)	305人(38%)
第28回大会	697人(100%)	421人(61%)	276人(39%)
第27回大会	411人(100%)	242人(59%)	169人(41%)
第26回大会	712人(100%)	442人(62%)	270人(38%)
第25回大会	535人(100%)	332人(62%)	203人(38%)
第24回大会	314人(100%)	209人(54%)	105人(46%)
第23回大会	155人(100%)	84人(54%)	71人(46%)

3 大会の特徴

大会	参加者数	大会の主な特徴	天候他
第23回 (H17年度)	155人	野洲川歴史公園サッカー場を主会場とする。	<雨・寒>
第24回 (H18年度)	314人	ファミリーでの参加が多かった。	<曇・寒>
第25回 (H19年度)	535人	マラソン開催中サッカー場Aコートを開放し、ふれあいの場を設定した。	<快晴・暖>
第26回 (H20年度)	712人	ファミリーでの参加が多く、親子や友達との参加が多かった。7kmコースの一部を高水敷きコースとして実施した。	<晴・暖>
第27回 (H21年度)	411人	5・7kmコースを高水敷きコースとしたが、水溜りがあったため、来年度はコースの変更を考えたい。	<雨・寒>
第28回 (H22年度)	697人	今年度もコース変更した。7kmコースを高水敷きコースとしたが、水溜りがあったため、コース整備が必要。	<晴・暖>
第29回 (H23年度)	804人	東日本大震災1周年のため、開会式に黙祷を捧げた。800人を超える過去最高の参加者数となった。	<晴・暖>
第30回 (H24年度)	866人	30周年大会として、大会チラシに野洲川の歴史を掲載した。やや厳しい季候ではあったが、前年度の過去最高参加者数を更新した。	<曇のち雨・寒>
第31回 (H25年度)	905人	天候に恵まれ、3年連続で過去最高の参加者数を更新した。「恋するフォッシュクッキー」をテーマにしたウォーキングアップで盛り上がった。	<晴・暖>
第32回 (H26年度)	937人	前日雨、当日朝晴れ。最高参加者数更新。定員制導入、7kmと2kmの部門で定員締切。3km、5km廃止し10分の1マラソンを新設、服部大橋を渡る新コース採用	<晴・暖>
第33回 (H27年度)	895人	チラシ全戸配付を止め、広報と学校全児童数配付に。2kmと2kmFの部で定員締切。日体大女子駅伝選手招待、陸上教室(小中学生対象)実施。もーり初参加で会場を盛り上げた。	<曇・暖>
第34回 (H28年度)	885人	7kmコースの一部を中洲親水公園を通る高水敷きコースとして実施した。琵琶湖河川事務所やユニスポもりやまのブースが初参加。Bコートの人工芝は張り替えたばかりだった。	<晴・暖>
第35回 (H29年度)	999人	昨年同様のコース・出店等で実施。当日は非常に暖かい気温(20℃前後)中で開催。参加人数の記録を更新。	<晴・暖>
第36回 (H30年度)	931人	2kmを1つの部門に統一。3kmコースが復活。雨の予報のため開催が危ぶまれたが決行、ゴール後から小雨に。日体大のゲストランナーによる陸上教室も開催。	<曇のち雨・寒>
第37回 (R1年度)		新型コロナウイルスの影響により中止	
第38回 (R2年度)	490人	参加人数を制限するため、事前申込制(先着600名程度)で2kmの部のみで開催。2kmの部だけなので、ファミリーでの参加が多かった。SGH文化スポーツ振興財団による陸上教室も開催。	<晴・暖>
第39回 (R3年度)	560人	昨年に引き続き感染症対策のため2kmの部門のみで開催。SGH文化スポーツ振興財団の陸上教室では、本市環境政策課とコラボし、野洲川について学ぶウォーキング教室も開催。	<曇のち晴・寒>
第40回 (R4年度)	717人	2kmの部に加えて5kmの部を野洲川中洲親水公園で開催。4年ぶりの飲食ブースが盛況。ゲストランナーにしがスポーツ大使の我孫子智美氏を招聘。走り方教室、ランニング教室。	<晴・暖>
第41回 (R5年度)	855人	走り方教室のほか、ビッグレイクAコートの人工芝改修記念イベントとして、サッカー元日本代表の加地亮氏、小林大悟氏を招いたサッカー教室を同時開催。お楽しみコーナーを巡るスタンプラリーを実施。	<快晴・寒>

教育委員会の日程等について

1 教育委員会関係の今後の行事

月	日	曜	時間	場 所	行 事 名	備考
4	8	月	午前	市内小学校	令和6年度市内小学校入学式	出席 依頼
4	8	月	午後	市内中学校	令和6年度市内中学校入学式	出席 依頼
4	15	月	午後2時	滋賀県庁 オンライン	令和6年度滋賀県教育行政重点施 策説明会	出席 依頼
4	21	日	午前9時	守山市民球場	第48回守山市スポーツ少年団 「つどい」	出席 依頼
5	16	木	午後2時30分	マリアージュ 彦根	令和6年度滋賀県都市教育委員会 連絡協議会定期総会	出席 依頼
5	19	日	午前10時	市内各会場	第13回ルシオール アート キッズフェスティバル	開催 案内

2 次回の教育委員会開催日程等

【令和6年第4回守山市教育委員会定例会（4月）】

- 開催日 **4月23日（火）**
- 開催時間 **午後1時30分から**
- 場 所 **守山市役所2階防災会議室**

【令和6年第5回守山市教育委員会定例会（5月）】

- 開催日 **5月30日（木）**
- 開催時間 **午後1時30分から**
- 場 所 **守山市役所2階防災会議室**

【令和6年第6回守山市教育委員会定例会（6月）】

- 開催日 **6月25日（火）**
- 開催時間 **午後1時30分から**
- 場 所 **守山市役所2階防災会議室**

3 その他